

小山鼎浦 たかね 評論家。明治十一年十一月二十四日宮城縣生れ、大正八年八月二十五日歿（一八九一—一九一九）。本名東助。筆名安波二郎。小學生、新人社団法人の一人、鼎浦學人、鼎浦漁史、鼎浦生。第一高等學校を經く、明治二十六年東京帝國大學文科大學科卒業。新聞記者のち大正二年關西學院文科長、四年衆議院議員（曾選一回）。この間の明治四十一年、反自然主義を標榜の文藝革新會發起人となる。『鼎浦全集』全二卷（鼎浦會編、大正十四年六月十日—八月五日鼎浦會事務所）刊。

著書『社會進化論』（本名、明治四十一年二月二日博文館、『帝國百科全書』）、『久遠の基督教』（明治四十五年二月十五日警醒社書店）、『光を慕ひて』（大正二年二月二十八日警醒社書店）、齋藤野の人遺稿『哲人何處にあらずや』（嵯峨岫風共編、大正二年九月十日博文館）等。

久遠の基督教

鼎浦著